

編集 環境パートナーシップちば  
 代表 加藤 賢三  
 事務局 千葉市中央区中央港1-11-1  
 (財)千葉県環境財団環境技術部  
 環境啓発チーム  
 電話 043-246-2180  
 FAX 043-246-6969



# だより

— つながれ ひろがれ —

## H15年度定期総会開催される

4月26日(土) 船橋市女性センターにて29名の出席を得て、平成15年度環境パートナーシップちばの定期総会が行われました。

総会は、小野朗氏の司会のもとではじめられ、横山代表、県環境政策課濱崎主幹、千葉県環境財団環境管理グループ宮口参事の挨拶後、議長に井上健治氏、書記に太田想三氏を選出、平成14年度事業報告、会計報告、監査報告が行われ承認された。次いで15年度事業計画、予算案について、千葉県と千葉県環境財団の支援が今年度からなくなるため、積立金の取り崩し、繰越金等を使つての予算であること、事業実施に当たっては各種助成金の申請を行うことなどが説明された。

「環パちば」の基盤はパートナーシップの実現ということにあるので、その線に沿ったもっと積極的な事業展開を望むという声が出た。財政上、前年度と同様な形で事業を展開することは出来ないものの、「環パちば」メンバーはそれぞれに異なる活動分野や地域を抱えての連合体なので、その特性を生かし、県とのパイプ役やメンバー交流のコーディネーターとしての活動をさらに充実したものにして行くとともに、今後、独自の事業展開に関しては、現在検討中と説明、事業計画、予算案が承認された。役員選出は、代表には加藤



賢三氏、以下の人事案が全員の拍手で承認された(事業計画、新体制は2・3ページ)。なお、若干名の役員の補充が運営委員会に一任された。加藤新代表の挨拶の後、会員の活動事例紹介がなされ、(4・5ページ参照)それぞれの活発な取り組みを語った。「環パちば」は設立7年目になり、県内環境団体ネットワークとして、更に内容を充実させることを確認して総会を終了した。

## 新役員紹介

### バトンタッチ

代表 加藤 賢三



このたび、横山代表のあとを引き継ぐことになりました。私は、「環パちば」の設立期から参加していましたので、今までの「環パちば」の流れに関して一応理解しているつもりですが、ここ数年のこ

とに関してはあまり分かっていないと思われます。新人のつもりで、三代目「環パちば」の代表として、恥ずかしくないようにやっていきたいと思っておりますので、ご支援の程よろしく願いいたします。

「環パちば」は千葉県および県環境財団のご支援のもと、千葉県の環境を良くするため、主として県内の環境団体のまとめ役を果たすべく設立され、パートナーシップによる活動の推進をしてきたと理解しています。初代の鈴木優子代表が2年で基礎を築き、二代目の横山清美代表が4年間で「環パちば」の知名度を一段と

上げ、県環境行政の各種委員会において重責を担ってまいりました。この間に当初の目的である市民と企業と行政のパートナーシップの育成につとめ、不十分なところはありますが、所定の成果を上げたことはまことに喜ばしい事と思います。

幸か不幸か今年から県からも財団からも財政的支援はありません。

このような変革の年にあたり、初心を忘れずに、「環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、

この度、副代表に選任され、責任の重さを痛感しております。ご承知の通り、これまで千葉県と(財)千葉県環境財団より、ご支援を賜りながら事業を進めてきたわけでありましたが、今年度は環パちばの創立以来の試練の年となります。そういう意味では創立の原点に立ち返り、我々のできる事は何かと見つめ直すチャンスととらえて行けばと考えております。

加藤代表のお話にもありましたが、お金がなくてもできることはある。そのことを模索して参りたいと思っております。これまでの出費等見直しも必要と考えております。

#### 副代表 高橋 晴雄



仕事をやめてみて改めて強く意識させられたのは、わが身をおく“地域”の大切さでした。連れ合いとの終の棲家となる“地域”をいとおしく思うと共に、これまで、この地

にあって、いろいろ絆をつくってこられた方々一人一人が“感動”を日々感じて、地域を守り創ってこられたということです。既にはじめておられた方が、どうぞどうぞと新米の私を迎い入れてくれたことにもよります。同じことが“環境パートナーシップちば”にも感じました。7年前から手がけられ、積み重ねてこられた方々です。利を争って直線的で一様性の経済迷走の結果生じた深刻な“環境問題”を地域にあって人間、そして生き物の視点から地味に立ち向かってこられた方々です。県内の志のある環境市民として

行政および専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図る」という、「環パちば」の設立目的の実現に向けて、自立した団体として、着実に歩を進めていきたいと考えています。平成15年度は、事業計画にもありますが、より一層のパートナーシップの育成につとめながら、環境再生、循環型社会づくりに向けて、「環パちば」は大きな役割の一端をになって、千葉県のみならず日本のリーダーとして、ナンバーワンではなく、オンリーワンにチャレンジして行きたいと思っております。

#### 副代表 小野 朗



これらのことを考えながら、環パちばの目的に沿った活動ができるように努力して参りたいと考えております。会員各位の尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

自らをネットワークし、場を作り、事例を交流し、学びあい、社会的に発表の場を作り、あるいはコーディネートされてこられた方々です。私はこれらの方々のパートナーシップの言葉にひかれ、また最近まで仕事をしてきた協同組合も団体加入していて多少知っていたこともあり、仕事をやめたことを期に今度は個人として会員にさせていただきました。そして運営の一端にも関わらせていただくことにもなりました。本当にわからないことばかりです。よろしくご指導くださるよう心からお願いするものです。私は、皆さんから教わってきたのは、生活者の市民的な感覚が生きて活らく環境活動の大切さです。一番大切な生命を育むのは日々の生活です。子供を育むのも生活です。子供はすべて次世代に属しています。私事で恐縮ですが私には孫が4人います。この子らと共に大人である私たちも生きています。次世代のこの子供らが青息吐息して暮らさざるを得ないことを想定するのは耐えがたいことです。誰もがもつ、このような思いを原点にしたときにパートナーシップが一層力を得て、次世代に負担をかけまいとする流れが世の大道になるのではないかと。それを願って共に楽しく歩みたいと思っております。

## H 1 5 事業計画

事業	日程	内容
エコサロン	6月20日(金) 8月22日(金) 10月17日(金) 12月19日(金) 2月20日(金)	環境形成研代表取締役 島村隆夫氏
学習会	年2回	水問題、バイオマス、省資源化など環境再生に関するこれからの方策と、京都議定書の実現を促す様な方策を専門家より学び提案などをしていく。
エコツアー・研修会		学習会などで得た知識を実際に現地での体験なども含めた見学会など
エコメッセ		未定
環境シンポジウム千葉会議	10月4日(土)プレ 10月5日(日)	「みんなで語ろう 環境のこと」 会場：日本大学生産工学部(津田沼キャンパス)
フェアーなどに参加	県、市町村の環境イベントに参加	
環境学習	・体験的環境学習推進 ・環境マップ推進 ・エコマインド講座の推進 ・その他	
だより	5月、7月、9月、11月、1月、3月(いずれも月末発行)	
HP	だより等の掲載、掲示板の試行	
運営委員会	月一回定例	

## H 1 5 新役員紹介

代 表	加藤 賢三	総務部部长	縣 和子	アドバイザー	川原 啓佑
副 代 表	小野 朗	総務部副部长	時任喜代子		佐久間 隆義
	高橋 晴雄	事業部部长	中岡 丈恵		鈴木 優子
会 計	未定	広報部部长	佐藤 素子		永島 輝代
書 記	小関 光二	広報部副部长	広田由紀江		平松 南
		監 査	深尾 秀次		横山 清美
			大西 優子		(あいうえお順)

(若干名の補充が運営委員会に一任されています。)

### 4月運営委員会(4月18日開催)

総会準備の打ち合わせ  
事業や会計等の報告、予算や新役員の(案)交流会等総会当日の進行と役割分担等。  
「エコサロン」は、講師を「環境形成研究所」に依頼、日程は6月20日等。  
「だより」第30号発行について。

総務部より  
運営委員会だより

### 5月運営委員会(5月18日開催)

新体制への引継ぎを兼ね、代表・副代表・総務部・広報部・事業部・会計・書記等の役職業務分担や内容について、総括的に検討。

「だより」の配布先確認、運営委員会状況のお知らせコーナー設置、共催・後援等事業を掲載  
運営委員会の開催日程は、原則毎月第3金曜等  
「エコサロン」の開催日程は、偶数月第3金曜等。



## 事例発表

### 1. ありがとう交流・エコマネーに期待

松戸エコマネー・アウルの会代表 文入加代子さん

松戸市消費者の会として団体会員である他、個人会員でもある文入さん。このところ、新聞やニュースなどで話題になっているエコマネーについて発表していただきました。

エコマネーの発祥はヨーロッパで、1980年代からかなり広がっているとのこと。イギリスを中心にレッツという地域通貨が2000近い地域で導入されています。アメリカではタイムダラー。日本では、2000年代に入ってから取り組みが増えました。今、100以上の地域で始まっていて、その中でも北海道栗山町が先端を行っていると言われてます。

昨今は、隣近所で助け合いはなかなか生まれにくい、なかなか願いますとはいえない関係と言われてます。もしもこれがエコマネーを使って活性化できればどうでしょう？赤ちゃんを預かる、ちょっとした用事を頼む、など。何かを頼んだ時に、プロの方ではないのでお金は受け取れない、でも“ありがとう”の意味を込めてエコマネーのチケットを渡す。そしてこれを、自分もすぐに使うことができます。地域の福祉活動でチケットを貯めておき、いざ自分が人の助けが必要になったときに使う福祉システムとは違います。

エコマネーに協力してくれているのは、松戸街づくり連絡協議会、青年会議所、ライオンズクラブなどで。中でも松戸中央ライオンズクラブからは50万円の



助成金もいただきました。役員は20人いますが、まずは全員ボランティアスタッフとして登録をしています。この他に募集したところ、新たに20人程集まりました。

名前であり、エコマネーの単位でもある「アウル」とは、ふくろうを意味しています。ふくろうは、松戸市の鳥であり、幸せを呼ぶ鳥、知恵の鳥と言われています。チケットは2種類あり、“500アウル/30分目安” “1000アウル/1時間目安”。デザインも公募しました。会員には、『私が出来るサービス』『やってもらいたいサービス』を書いてもらい、コーディネーターがセッティングします。栗山町も今、13ヶ月の第三実験中であり仲間を増やしています。松戸もこの春から実施の予定で、5、6月をテスト期間としています。“ありがとう”が行ったり来たりするような、地域でのふれあいを高めたい。そう考えております。

### 2. パートナーとして

千葉県環境研究センター 小倉久子さん



いつも、個人会員として「環パちば」に協力していただいている小倉さんは今回環境研究センターの職員の立場でパートナーとしての役割で発表。

2年前に千葉県水質保全研究所が環境研究センターに生まれ変わり、研究のあり方も今までと違う視点が求められている。

そこで今年度からは重点研究課題を決めて、環境を水質とか大気とか廃棄物とか一つ一つを見るのではなく、全体として捉え、一緒に取り組むことが決められた。そして今年の重点研究課題には、今切実な問題である印旛沼の水質、再生を取り上げることになった。千葉県の水道原水である印旛沼の水質を良くするためには、水だけでなく生態系とか里山などの自然や生活そのものから見ていくことが重要で、これからの環境再生は官が決めてやるものでなく、市民とのパートナーシップをとりながら、地域の環境をよくするための活動につなげる必要がある。そこで地域グループ活動の調査を申請したところ通ったので、また皆さんにお世話になりながら調査を進めたいと思います。印旛沼流域の八千代市で活動されている加藤代表はじめ、流域外であってもいろいろなグループ活動例を紹介させていただきたいと思っております。

### 3. 千葉のゴミ番

ごみゼロネットちば21代表 井上健治さん

2000年環境シンポジウムが縁で誕生したごみゼロネットちば21(通称GONET)。現在会員50名、一人一人が地域でリーダーとして活動することを目指しており、柏、船橋、市原、茂原にそれぞれ地域GONETが誕生した。全体のGONETは地域GONETの地域での活動して支援し、全県的な取り組みを行っていききたいと思っている。

昨年の主な活動としては、茂原で豊岡小での環境学習のお手伝いでソーラークッキングを行った。レンジフードと缶詰でクッカーを作ることから初めてゆで卵に挑戦した。うまくできたところや失敗した班もあったが、それぞれにとっても楽しくできた感想をもらい、何よりうれしいのはその地域のリサイクル率が非常に上がったとの報告があったこと。また、子どもたちがよく勉強していてレベルが高いことも印象に残った。また今年も続けて頼まれているが、先生方に覚えていただいで自分たちでやっていただくことを目標にやっていきたい。

また、産業廃棄物協会が主催した「産業廃棄物のこれから」に裏方として参加して、産廃問題は下水処理場の汚泥や住宅のシロアリ駆除剤のしみこんだ木材な



ど私たちの生活と密接に結びついていること、4000社ある産廃業者のうち、協会に所属して適正な処理をしている業者は500社であり、その処理はきちんとされていることなどを知り、大変勉強になった。悪質な業者を締め出すためにも、行政、市民と産廃処理業者の方との情報交換が必要との感を強く持った。

今年度も地域での活動とともに、全体として果物の皮を芸術に変えてしまう「ピールアート」の講演会や親子でごみ問題を考えるごみフェスタなど企画している。

### 4. ちば環境再生計画その後

ちば環境再生県民の会副代表 太田想三さん



千葉県環境再生計画は昨年堂本知事のお声掛けで急遽始まり、市民の声を聞きながら作り上げていくということで各地で学習会が開かれた。しかし、あまりにも漠然ととしており、応援して行く上ではもっと継続的な会の必要ということで「環パちば」の中心メンバーや学習会に参加した方たちで会を作るということで県民の会を立ち上げ、県と直接話し合ったり、県の委

員会にも、「環パちば」代表と県民の会代表の2名が加わっている。

環境再生とは何か、負の遺産といわれる規制の無かった時代の産廃や不法投棄の山の後始末、自然破壊を元に戻すのか、あるいはサクラやハナミズキを植えることが環境再生なのか、わからないことだらけの中で、人々をひきつけたのが菜の花プロジェクトであり、休耕田などを利用して、県の花なのはなを植え、油を採取し、食用にしたあとは廃油で自動車まで走らせようという計画であった。一方、県との話し合いではまず募金活動への協力がある。しかし、募金の使い道が不明では募金のお願いのしようも無い。そのうち、ようやく走り出した菜の花プロジェクトに農政課から、菜の花は特産品梨の受粉のために使われる蜂が梨より好むのでだめと横槍が入った。じゃ、落花生かひまわりでなどと簡単に言う。県西部はほとんど全域で中止、また近隣農家との話し合いで撒いたところも結局花が咲く前に刈り取りということもあった。きちんとした根拠を示してほしい。

散々、痛い目にあった再生計画だが、だからこそ、環境再生が何なのか市民の側から提言していくことが必要であり、そのためにもこれからも頑張っていきたいと思っている。

# ・・・出かけてみませんか 環境月間など！・・・

6月5日は1972年ストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念してさだめられた環境の日、6月は環境月間として多くの自治体で環境関連の行事が行われます。皆さんも出かけてみませんか。各行事は県の環境政策課から情報をいただいて、市町村の了解を得たものです。

市町村	行事名	日程	内 容	場 所
	担当部署	連絡先 TEL	m a i l	
千葉市	2003 ちばし環境フェスティバル	6月5日	ダニエル・カール氏による記念講演（申込み終了） ミニコンサート、展示（環境NGO、企業及び行政）	千葉市文化センター
	環境調整課	043-245-5199		
習志野市	環境展示会	6月21・22日	地球温暖化問題についてのパネル展示・ビデオ上映	サンペデック1階 センターモール
	自然保護課	047-451-1151（内386）		
	谷津干潟の日行事	6月7・8日	シンポジウム、観察会、市民参加イベント、市民作品展等	谷津干潟自然観察センター
	谷津干潟自然観察センター	047-454-8416		
市原市	エコフェアいちばら	6月21日	各種団体の環境保全活動の展示・実演、低公害車の展示 フリーマーケットなど	市民会館 市民広場
	環境管理課	0436-23-9867		
鎌ヶ谷市	環境ビジュアル展	6月中1週間	環境に関するパネル展示	市役所1階
	市民部環境保全課	047-445-1141（内248）		
流山市	環境シンポジウム（流山市環境デー）	6月22日	1.基調講演「農的循環型社会について」 2.パネル展示	文化会館
	環境保全課	04-7150-6083		
船橋市	環境フェア	6月7日	小中学生による環境学習発表会、環境団体によるパネル展示、体験・実演コーナーなど	船橋市中央公民館
	環境パネル展	6月20～27日	環境団体の活動紹介	市役所1階
	環境保全課	047-436-2454	kankyohozen@city.funabashi.chiba.jp	
市川市	いちかわ環境フェア	6月21日	テーマ「ためしてみよう・やってみよう 環境によいこと」 市民団体・企業・市の取り組みの展示、いちかわこども環境クラブ発足式	メディアパーク市川 (市川市生涯学習センター)
	環境政策課	047-334-1111（内3533）	matsumoto@city.ichikawa.chiba.jp	
柏市	くらしと環境パネル展	6月5日～17日	環境に関連したパネルの展示やパンフレットの配布	県民プラザ1階アゴラ
	環境学習DAY	6月14日	1.環境教育人形劇「とべ！ドードー」11:00～12:00 2.講演「地球温暖化防止と私たちの生活」14:00～15:30 大西 隆（東京大学先端科学技術研究センター教授） 3.ゴミの減量化・3Rについての呼びかけ	柏市中央公民館講堂（4階）
	環境保全課	04-7163-4422		
光町	栗山川周辺環境ボランティア	6月1日	栗山川周辺のゴミ回収・清掃活動 8:30～正午	栗山川周辺
	住民課	0479-84-1211（内1221）	hikarit@olive.ocn.ne.jp	
東金市	アースセレブレーション2003	6月7日	「地球交響曲/ガイアシンフォニー第四番」「葉っぱのフレディ～いのちの旅」の上映団体と協力した企画	東金文化会館
	経済環境部環境保全課	0475-50-1156	kankyo@city.togane.chiba.jp	
浦安市	浦安市環境フェア	6月14日	環境団体による展示、第3回三番瀬シンポジウム 環境映画会「ゲース」 環境講演会「豊かな生命の宝庫・・・三番瀬」 講師 中村 征夫（いくお）氏	新浦安駅前広場、 ショッパーズ4階 市民プラザ
	環境保全課	047-351-1111（内1458）	kankyouhozen@city.urayasu.chiba.jp	



佐原市	佐原市環境フォーラム 2003	6月22日	テーマ(仮)「考えよう身近な環境—子供から大人まで—」	佐原市中央公民館
	環境保全課	0478-50-1213	<a href="mailto:kankyou@city.sawara.chiba.jp">kankyou@city.sawara.chiba.jp</a>	
袖ヶ浦市	「暮らしと環境を考えよう in 袖ヶ浦」	6月22日	環境シンポジウム フリーマーケット 資源回収とプレゼント 環境にやさしい商品やリサイクル商品の販売 環境に関するパネルの展示	袖ヶ浦市民会館
	環境保全課	0438-62-2111 (内 353)		
白井市	第2回白井市環境フォーラム	6月28日	テーマ「自らの手で守ろうふるさと白井の自然と環境」サブテーマ「ごみの減量に挑戦しよう! ごみは宝だ!」事例発表・パネル展示・交流会など	白井市文化センター中ホール
	白井市環境課	047-492-1111		
野田市	江戸川クリーン大作戦	6月1日	江戸川河川敷のゴミ拾い・清掃活動	江戸川河川敷
	環境保全課	04-7125-1111 (内 3976)		

環境研究センター水質地質部施設一般公開 (千葉市美浜区稲毛海岸3-5-1)

・水質棟:6月2日(月)~6月6日(金)(10時~16時) ・地質棟:6月2日(月)~6月8日(日)(10時~16時)

水質の現状や浄化方法についての展示や説明もありますので、どうぞおいでください。予約不要ですが、人数が多いときにはあらかじめお知らせください。お問い合わせは、水質環境研究室 小倉久子まで

TEL 043-243-2935 FAX 043-243-2960 Email [h.ogr3@mc.pref.chiba.jp](mailto:h.ogr3@mc.pref.chiba.jp)

## パートナーシップで作りました。環境活動支援マップ

楽しく学ぼう「エネルギーと暮らし」

大西優子

昨年のA1版環境活動支援マップ「水と私たちの暮らし-海老川・三番瀬-」(現在・昔)に続き、平成15年度の事業として「エネルギーと暮らし」-現在・近未来-、裏面に-江戸時代-ができました。

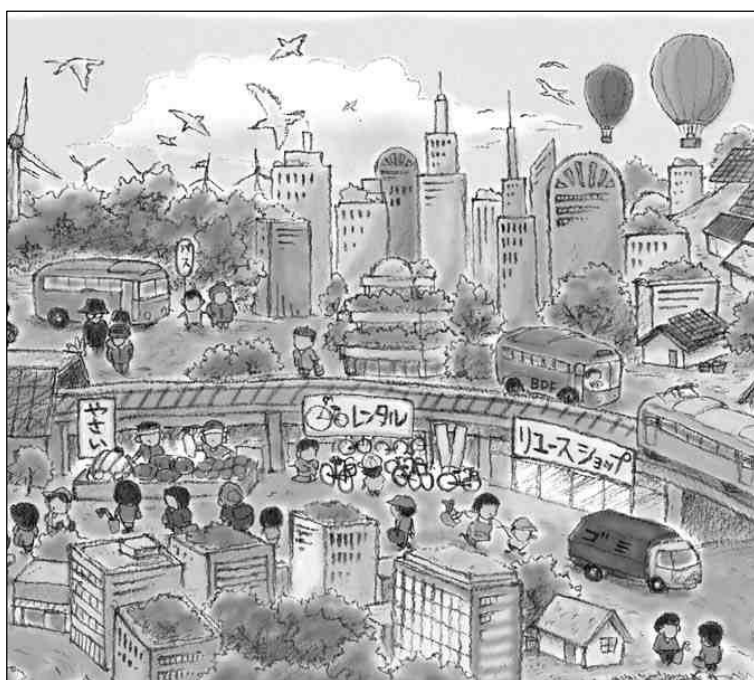
これは、県環境生活部環境政策課の発行で、作成委員会メンバーは県環境政策課、県環境研究センター及び船橋市環境保全課の職員とNGO(環境パートナーシップちば・ストップ地球温暖化千葉会議会員)で構成し、勉強会を重ねながら絵も幾度となく描き直しをし、千葉県立中央博物館と千葉県立現代産業科学館の監修を受けたものです。

使用対象は小学校高学年を想定し、イラストから読みとって発想を広げて学んでもらうことを目的としています。低学年にも絵の中から「?」を探す使い方や、一般市民にも現在の生活を見直し、化石燃料使用から自然エネルギー利用の将来生活を考えてもらうきっかけづくりにも耐え得るものになっています。

今後、学校や地域での環境学習に広く活用して欲しいと考えています

- ・江戸時代と現在のエネルギー事情を比べて、ライフスタイルについて勉強して見ませんか?
- ・地球温暖化が進む原因や、その解決方法を絵の中から探し出してみませんか?

(問合せ先 千葉県環境部環境政策課)



## お知らせコーナ

### エコサロンー環境パートナーシップちば主催事業

皆様の活動を学び、つながり、広げて深め、力をつけて、環境保全に行動を起こす手立てを作り出すエコサロンを今年も定例で開催します。

平成 15 年度第一回エコサロン

日時：6月20日 18時30分から 20時30分

場所：船橋女性センター会議室

テーマ：千葉県における風力発電と環境問題  
～エコ・エコノミーの実現に向けて～

講師：環境形成研究所 島村隆夫氏

申し込み・問い合わせ：事業部 中岡

TEL & FAX：047-385-8950

E-mail：naka.hta@trust.ocn.ne.jp

### エコマインド養成講座のお知らせ

この講座は、環境に関する知識を得るだけでなく、参加体験型の学習を通じて、自然に対する感性や人と環境、さらに人と人との関わり方を学び、環境を大切に思う心（エコマインド）を育むとともに、地域での環境学習の進め方等を身につけるための講座です。

1. 講座内容 必修科目 10科目（7日+）  
選択科目 12科目（3日以上）
2. 申込期限 平成 15 年 6 月 18 日（水）
3. 募集定員 平日コース（開始日 6/25） 35 名  
土日コース（開始日 6/28） 35 名

事務局（問い合わせ、申し込み）

（財）千葉県環境財団 環境技術部環境啓発チーム  
〒260-0024 千葉市中央区中央港 1-11-1  
TEL：043-246-2180 FAX：043-246-6969  
URL <http://www.ckz.jp/>  
E-mail [keihatu@ckz.jp](mailto:keihatu@ckz.jp)

### 千葉県環境研究センター公開講座

5月～7月の統一テーマ「物質循環の現状を知る」

6月21日（土） 県立美術館 「研究の紹介」

\* 未利用資源の利用とその環境影響について

千葉県環境研究センター 大気部 鎌形香子

\* バイオマス関係研究の取り組み状況

千葉県農業総合研究センター企画調整部 金子文宜

7月12日（土） 県立美術館

（予定）「環境活動団体・事業者による取り組み紹介とパネルディスカッション」

申し込み、問い合わせ

千葉県環境研究センター企画情報室まで

TEL：0436-24-5309 FAX：0436-23-3598

Email [kankyoken@ma.pref.chiba.jp](mailto:kankyoken@ma.pref.chiba.jp)

### NPO による公募型環境学習事業の募集

県では、環境学習に関する専門的な知識とノウハウを持ったNPOに、環境講座実施事業を委託することとしました。募集する事業内容は、一般県民を対象とした「体験型環境講座」、小学校4年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象とした体験型の「こども環境講座」の実施です。が3～5講座程度、が2講座程度。県内に事務所があり、県内を中心に活動しているNPOの募集に限ります。NPOは法人格の有無を問いません。

応募締め切り：6月13日（金）

環境生活部環境政策課指導計画室

電話 043-223-4139

### 広報部より

1. 皆様の活動やお知らせなどの原稿をお寄せください。
2. ホームページリニューアルしました。「環パちば」便り全文がHPでご覧になれます。
3. ホームページに団体のリンクや連絡先としてメールアドレス等の記載をご希望の方はご連絡ください。広報部連絡先 FAX：047-450-8468  
E-mail：[motosato@pop07.odn.ne.jp](mailto:motosato@pop07.odn.ne.jp)

古紙 100%再生紙使用

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政および専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的としたネットワークです。

申込先：千葉県環境財団 環境技術部  
環境啓発チーム気付

TEL:043-246-2180 FAX:043-246-6969

会費納入先：環境パートナーシップちば  
郵便振替口座 00160-9-401872

<http://www1.u-netsurf.ne.jp/~kanpachi/>

千葉県環境財団環境技術部環境啓発チーム気付

### <環境パートナーシップちば>

#### 入会申込書

会の趣旨に賛同し（個人、団体、賛助会員として）  
会費を添えて入会します

氏名		入会年月	
住所	〒		
TEL		FAX	
年会費	個人 1,000 円 団体 2,000 円 賛助会員 5,000 円		



